

# まっすぐ



**田中智也**

県政レポート

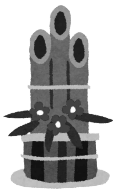
vol.5

平成26年1月

発行人:田中智也 〒510-0839 四日市市青葉町800-177 電子メール:bottlenose@khaki.plala.or.jp  
TEL・FAX:059-353-5995

たくさんのご意見をお待ちしております!

新年あけまして  
おめでとうございます



2014年、あけましておめでとうございます。皆々様おそろいで新春をお迎えのことと存じ心からお喜びを申し上げます。旧年中は一方ならぬご厚情を賜り、誠にありがとうございました。本年も昨年と同様よろしくお願いいたします。

昨年5月からは、環境生活農林水産常任委員として、また7月に可決成立した「三重県飲酒運転0(ゼロ)をめざす条例」の検討委員として条例づくりに参画いたしました。飲酒運転については近年、道交法改正の厳罰化により検挙者数は減少してきていましたが、ここ数年は年間600件前後とほぼ横ばいとなっており法律の厳罰化は限界にきているといわれています。一方、飲酒運転は再犯率が高いといわれており、平成21年の調査では再犯者のうちアルコール依存症の疑いのある人の割合は3~4割と報告されています。私はこのことに着目して取り組み、本県の条例は全国でも先進的な内容とすることができました。

議員提案の条例づくりに関しては、「みえ歯と口腔の健康づくり条例」に続いて2つ目となり、経験を生かすことができたのではないかと考えております。

2014年度当初予算の各部局要求状況については、昨年12月に説明があり、一般財源ベースの総要求額で5,354億円となりましたが、財政課の来年度歳入見込みは5,105億円程度で249億円の調整が必要になります。

今後も皆様のご意見や思いを、しっかりと予算に反映させながら、いきいきと安心して暮らせる三重県づくりのために「まっすぐ」に活動していきます。

三重県議会議員 **田中智也**

## 一般質問に立つ



県議会定例会11月定例会議、12月2日の本会議にて県議会議員として三度目となる一般質問に立ちました。これまでの2回は4~5項目取り上げ、時間的に足らなくなるが多かったため、当初は3項目に絞ろうかと考えましたが、現場へ出向き多くの県民の方々と接して感じたこと構想したことを少しでも早く県政に反映をさせたいという想いが高じてきてしまい、やはり4項目となりました。

## 救命率日本一の県をめざして

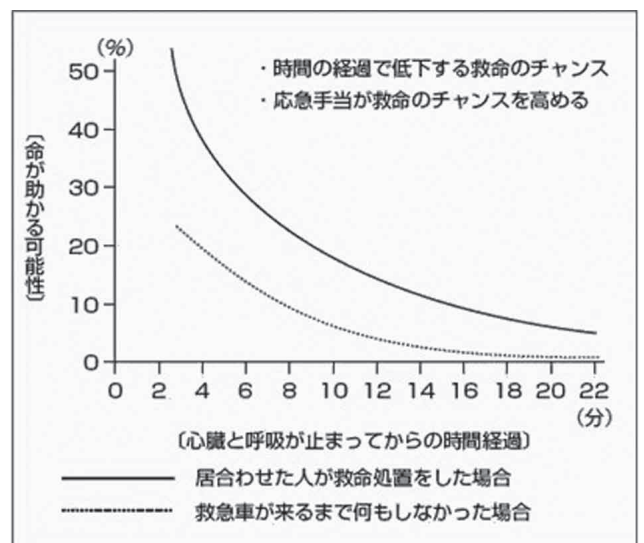
三重県では平成24年2月から、さらなる救命率の向上と後遺障害の軽減を目的に、ドクターヘリが運航されています。年間の出動件数も150~160件前後と実績は上がっていますが、離着陸できる場所の確保や、夜間と視界が悪い場合は運航できないことなどから、救急医療全体を考えた場合それだけで十分とは言えません。



一方で、総務省消防庁の「救急蘇生統計」によると、心筋梗塞など心臓に原因

があって心肺停止になった人の中で、その場に居合わせた一般市民による心肺蘇生やAEDによる応急処置が施された人は、そうでなかった人と比較した場合、「救命率」や「社会復帰率」で約2倍程度高くなると報告されています。

一般市民に対する救命講習などの普及啓発は基本的には各市町等消防本部の事業となっておりますが、多くの県民の命を救うとともに社会復帰してもらうために、一人でも多くの県民が適切な応急処置を講じる



ことができるよう県が主体となって取り組むべきではないかと質しました。

### 三滝川の整備の今後について

三滝川は御在所に端を發し菰野町を流れ、私が住む常磐地区を含む四日市市内を通る流域面積62.38平方キロ、幹線流路延長23.3kmの県が管理する二級河川となっています。

万が一、氾濫した場合の浸水区域内の人口は44,754人、資産については1兆円を超え、災害時要援護者施設数として40、重要公共施設3、事業者数5,197、工業出荷額は2,145億円、という県管理河川の中でも一二を争うほどの重

要度の高い河川で、県の河川整備戦略上もハード対策の必要性が高い河川と位置付けられています。

ここ2、3年の台風による増水で護岸堤防が被災しています。復旧工事は応急的なものを含め進められてはいますが、抜本的なハード対策の必要性について痛感していることから、その進捗状況と今後の計画について質しました。

答弁として「現在は流下能力の低い所(川幅が狭い)が2か所あるため、その箇



所の整備に注力している。その整備が終わり次第、分流するための三滝新川の整備に取り組む計画である。今後も周辺住民の理解を得ながら早期整備に取り組んでいく」というものでした。

### 子ども・若者総合相談センターについて



平成22年「子ども・若者育成支援推進法」が施行され、総合的な推進の枠組みが整備さ

れるとともに、ニート、ひきこもり、不登校等、困難を抱える子ども・若者の支援を行うためのネットワーク整備が図られてきており、全国36の自治体に、一次相談窓口である「子ども・若者総合相談センター」が設置されています。

私自身も、子どもや若者が抱えるさまざまな悩みについて、よく聞けるのが「どこに相談してよいかわからない」ということです。また、病気や障害などが背景にある場合は、いち早く専門機関に適切につなげていくことも重要であり、当事者や家族のためのワンストップの相談窓口の必要性を強く感じています。

これらのことから、三重県として「子ども・若者総合相談センター」を設置するべきではないかと質しました。

答弁としては、「県として設置しているのは11県にとどまっており、既存の相談機関の実情も踏まえて検討していく。」と

消極的なものでした。

今後は、ワンストップの相談窓口の設置に加えて、既存の相談機関などのネットワ

### 特別支援教育の充実について

近年、通常学級に在籍している発達障害の可能性のある児童生徒が増えてきているのではないかと意見を多く聞くとともに、通常学級に通う発達障害がある児童生徒の数は確実に増えてきています。

発達障害は学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)、高機能自閉症及びアスペルガー症候群などさまざまな種類がありますが、その特性に応じた支援を受けることができれば十分に力を発揮できる可能性があると考えられています。



ーク化の必要性についても調査し取り組んでいきたいと思っています。

健全な児童生徒の発達障害への理解を深め、全ての子どもが自分らしく、生きていける環境をさらに充実していくために、本県における現状と今後について県教育委員会の考え方を質しました。

答弁としては、「通級指導を受ける児童生徒数は平成21年に399人だったのが、今年度624人と約1.5倍と増加している。」「就学前からのネットワークづくり、引継ぎツールとしてのパーソナルカルテの作成、個別指導計画、県立特別支援学校による相談、小中学校現場における特別支援教育コーディネーターを中心とした体制づくりなどを行っている。」というものでした。

私の思いは、体制づくりをしようにも現状の教職員定数の中では困難を極めると考えています。今後も特別支援施策の充実のための県教育委員会として独自加配の検討を求めて取り組んでいきます。

### ◆ 活動報告 ◆

- |   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| <p>10/ 1日 予算決算常任委員会<br/>2日 全員協議会<br/>3日 環境生活農林水産常任委員会<br/>4日 自治労三重県本部定期大会<br/>三教組三泗支部組織委員会<br/>5日 常磐幼稚園運動会<br/>6日 日永地区防災運動会<br/>7日 環境生活農林水産常任委員会<br/>10日 県職労定期大会<br/>11日 本会議<br/>予算決算常任委員会<br/>12日 ときわ保育園運動会<br/>三重県消防職員協議会との懇談会<br/>14日 天白町運動会<br/>ヤマト運輸労組定期大会<br/>15日 県本部現業評定期大会<br/>ブラジル三重県人会歓迎夕食会<br/>16日 本会議<br/>予算決算常任委員会</p> | <p>10/ 18日 県職労現業評定期大会<br/>19日 三重県私学大会<br/>20日 みえ森林フェスタ<br/>21日 四日市港議会本会議<br/>四日市消防協学習会<br/>22日 予算決算常任委員会<br/>23日 予算決算常任委員会<br/>25日 連合三重定期大会<br/>四日市港議会議事運営協議会<br/>27日 赤堀ふれあいまつり<br/>28日 予算決算常任委員会<br/>29日 果樹議連研修会<br/>31日 臨職労定期大会<br/>11/ 1日 環境生活農林水産常任委員会<br/>3日 常磐まつり<br/>4日 日永ふれあい文化祭<br/>6日 予算決算常任委員会<br/>すごいやんかトーク(常磐)<br/>7日 田中ともなり県政報告会<br/>8日 三泗労協定期総会<br/>9日 人権懇談会</p> | <p>11/ 10日 三泗支部ソフトバレー大会<br/>青寿会<br/>11日~15日 四日市港議会港湾調査<br/>17日 泗水草友会<br/>18日 四日市市長懇談<br/>20日~21日 会派県内調査<br/>22日 本会議<br/>23日 常磐地区ふれあいグランドゴルフ大会<br/>24日 常磐ソフトボール愛好会<br/>27日 本会議<br/>環境生活農林水産常任委員会<br/>28日 本会議<br/>29日 県職労青年部定期大会<br/>連合三重三泗地協定期大会<br/>30日 税務協議会定期大会<br/>12/ 1日 天白ふれあいまつり<br/>四日市南部ソフトボールリーグ監督会議<br/>三重県障害者福祉大会<br/>2日 本会議<br/>3日 全日本海員組合申入れ<br/>4日 本会議</p> | <p>12/ 5日 予算決算常任委員会<br/>三重ワーカーズクラブ定期大会<br/>県職労鈴鹿支部定期大会<br/>6日 予算決算常任委員会<br/>10日 環境生活農林水産常任委員会<br/>12日 県職労津支部定期大会<br/>環境生活農林水産常任委員会<br/>18日 予算決算常任委員会<br/>県職労四日市支部定期大会<br/>19日 四日市港議会本会議<br/>西塚宗郎氏叙勲祝賀会<br/>20日 本会議<br/>21日 三重県障がい者芸術文化祭<br/>22日 四日市の第九<br/>26日 四日市港議会本会議</p> |
|---|---|--|--|

